



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

これって「けんり」？ これって「ぎむ」？

★今回の道徳の授業のねらい

権利と義務の関係について理解し、集団生活を送る上で自他の権利を尊重し合い、自分の義務をすすんで果たそうとする意欲を育てる。

★お話のあらすじと内容

権利と義務について短いお話の中で簡単に関係性を理解します。その後、物語を読みます。学習発表会の劇キャスト決めで揉めるクラスの学級会の様子が描かれています。主人公の村田さんはメインキャストに推薦されますが、ピアノのレッスンがあるため放課後練習の都合がつきません。学級の一人一人の権利を全て聞いては話し合いが全く進まないということを司会が伝え、話し合いが平行線のままになってしまうというお話です。

★児童のふり返り

- ◎権利と義務の意味とその違いが分かりました。
- ◎自分の権利ばかり主張してもうまくいかないことがあるということが分かった。話し合いなどをうまく進めるために、自分の権利をあきらめたり、我慢したりしなければいけないことがあると思いました。
- ◎権利と義務の意味が分かりました。今後は自分の権利や義務にどんなものがあるのか考えてみたいと思いました。
- ◎人それぞれに権利があるが、その全てが通るとは限らないことが分かりました。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

社会生活を営む上で、自他の権利を理解し、尊重し合うことは大切なことです。自分の権利を守り主張することには、他者の権利を守り尊重する義務が生じます。権利と義務どちらかを一方的に取り上げるのではなく、両者の関係を理解した上で、正しく権利を主張し義務を果たすことが大切と考えます。ご家庭でのお子さんの権利の主張について振り返る機会を設け、果たすべき義務の所在について話し合ってみるなどしてはいかがでしょうか。